

# 経営革新計画承認企業のご紹介



「中小企業等経営強化法」に基づき、経営の相当程度の向上が図られる新たな事業活動（経営革新計画）を京都府知事が承認する「経営革新計画承認制度」において承認を受けた株式会社弘伸の会長 平本 弘志氏に、その取り組みや展望について伺いました。

## 自社工場の新設によりファブレス経営の課題を克服 新事業もスタートし、より一層の飛躍をめざす

株式会社弘伸

<https://kohshin-japan.com/>



### お客様のあらゆるニーズに応える 高品質の素材を多彩にラインナップ



会長 平本 弘志氏

当社は、1983(昭和58)年に設立後、化合織専門商社として、主に原糸メーカーから原糸を仕入れ、販売してきました。

原糸を供給するだけでなく、外部協力工場と連携し、燃糸・染色・仕上げなどの加工を施した製品も販売しています。また

天然繊維のやさしさと化学繊維の機能性を兼ね備えたベンベルグ®[雅-MIYABI]をはじめ、自社オリジナルブランドの製品も開発。レーヨン糸、ポリエステル糸、ベンベルグ糸、ナイロン糸、金銀糸など多岐にわたる糸素材を金銀糸製造や織物製造、製紐製造など多様なお客様に安定供給しています。



多彩な糸を加工・販売

中でも大きなシェアを獲得しているのが、金銀糸です。全国の寺社の御守りの約85%が京都のメーカーで製造されており、当社はそのうちの約65%に経糸・緯糸を供給。御守り生産の重要な一翼を担っています。また、大手化学・繊維メーカーのベンベルグ®特約代理店として業界で知られている他、自動車や自動車部品、精密機械の運搬などに用いられるスリングベルトの材料として、ポリエステルやナイロン燃糸を供給するなど、幅広い産業分野に販路を広げています。

### メーカー機能のさらなる充実に向けて 新たな設備の導入を計画

外部工場の協力のもと、原糸の仕入れから燃糸・加工まで一貫生産体制を確立し、多様な糸を供給してきましたが、今後のさらなる成長を見据え、生産体制を抜本的に改革する必要性を感じていました。

課題の一つは、加工拠点が各地に分散していることです。例えば、仕入れた原糸を石川県で燃糸加工した後、染色用に巻き取るソフト巻き加工を愛知県の工場で実施。さらにそれを京都で染色加工し、最終的に奈良県の工場で円錐形の紙管に巻き直し(コーンアップ加工)を経て、ようやく製品が完成、納品でき

ます。運搬に時間とコストがかかる上、近年は外部協力工場の技術者の高齢化と後継者不足も深刻化。廃業するケースも増えており、このままではお客様への安定供給も難しくなると危惧していました。

もう一つの課題は、燃糸加工の品質向上です。既存の加工法では、燃糸過程で結び目が発生しやすく、それが織傷や編傷の原因となることがありました。

これらの問題の解決を目指し、経営革新計画を作成。2020(令和2)年度の承認を受けました。さまざまな支援を受け、2020(令和2)年9月、南丹市園部町新光悦村に園部工場を新設。これにより燃糸加工、ソフト巻き加工、コーンアップ加工などほとんどの加工を自社で担うことが可能になり、一拠点で一貫生産体制が整いました。これを機に、従来の燃糸加工から切り替え、結び目ができにくく、高効率に燃糸できるダブルツイスター燃糸加工を開始しました。



新設した園部工場



園部工場に導入した加工機

さらに新規事業として、新たな燃糸方法の開発にも取り組みました。太さ75デニールの糸を2本燃り合わせ、当社が専売する太さ150デニールのベンベルグ®糸と同品質の新商品の開発に成功しました。

今後はさらなる製品の品質向上に向け、ソフト巻き機の導入も計画しています。京都産業21には、事業計画や技術開発、補助金に関する情報提供など、さまざまな支援を受けています。力強いパートナーがいる安心感のもと、ますます社業に邁進していきます。

### Company Data

- 代表取締役社長/平本 純也
- 所在地/京都府長岡京市開田1-17-27
- 電話/075-955-0105
- 創業/1983(昭和58)年1月
- 事業内容/繊維原料の製造、加工及び販売、衣料品の製造、加工及び販売